



「はだしのゲン」 73年に連載が始まり、行本化のきっかけをつくった評論家石子順。舟木健治組合理長。島根県教職員組合委員長。爆発的な感動も子ども間の感動も子ども

「はだしのゲン」の撤去問題を報じる「しんぶん赤旗」日曜版

政治が教育支配

「『はだしのゲン』の撤去」「橋下思想調査」をダメと決めた教育委 「国・首長からの独立性」取り上げる

教育委員会は戦前の反省から、教育の自主性を守るため教育行政を国や首長から独立させたことが最大の特徴。形骸化が進み、自主性が奪われてきましたが、それでも「首長からの独立性」が残されています。橋下徹大阪市長が違法な「思

「教育委員会改悪」の狙い

想調査」を行おうとした時や島根県松江市で教育長が漫画「はだしのゲン」を学校図書館から撤去させた時、教育委員会がこれを取り消し、否決しました。「最後の砦（とりで）」である独立性取り上げが今回の改悪。犠牲者は子どもです。

教育委員会改悪

改悪法案では①教育政策の大本となる「大綱」を決定する権限を首長に与える②教育委員長をなくし、首長が任命する教育長がトップになります。

① 侵略戦争美化 安倍流「愛国心」押しつけ

「日本を貶（おとし）める自虐的な教科書が検定に通ってしまう」。下村博文文科相は、こう嘆きました。安倍首相は靖国神社参拝など侵略戦争を美化・肯定し、歴史教科書を安倍流「愛国心」に沿って改めさ

せる圧力を加えてきました。それでも教育委員会の多くは、安倍氏らが賛美する教科書を採択していません。そこで教育委員会の独立性を取り上げるのが狙いです。



靖国神社

あれば義勇公に奉じる」（いざというときには天皇に命をささげよ）ことを最大の道徳としました。下村発言は偶然ではありません。

文科相「教育勅語」を美化

.....

下村文科相は戦前の軍国主義教育の中心である「教育勅語」を「中身そのものは至極まっとうなことが書かれている」と賛美しました。「教育勅語」は特に、「一旦緩急

② 異常な競争主義持ち込み

安倍政権は「全国学力テスト」を全員調査に変え、自治体の判断で結果の公表を可能にしようとしています。しかし多くの教育委員会で「点数が独り歩きすると学校での

教育がゆがむ」と、平均点の公表や競争のエスカレートには慎重です。そのため独立性を奪い、異常な競争主義を押し付けようと狙っています。

教育委員会 こう改革 日本共産党

- ①教育委員たちが保護者、子ども、教職員、住民らの不満・要求をつかみ、教育施策をチェック、改善する
- ②会議の公開など教育委員会の役割が実際に果たせる体制をつくる
- ③政治介入から教育の自由と自主性を守る
- ④憲法と子どもの権利条約の立場に立って行政を行う
- ⑤教育委員会の公選制など抜本的改革を住民合意で進める